



伊木まり子と 生駒の未来をつくる会ニュース

第1巻 第3号

発行日2007年4月9日

小児科のある病院と病児・病後児保育で、子育て支援を！

ハイライト:

- 1日も早く市民の病院をつくらう！
- 子どもが入院できる病院を生駒市に！
- 病児、病後児保育の整備で、子育てを支援しよう！
- 災害時こそ威力を発揮する基幹病院をつくらう
- あなたにつながる生駒市議会・市政をつくらう！

生駒総合病院が閉院になって、生駒市には身近な病気で子どもが入院できる病院がなくなりました。生駒総合病院には10人前後の小児科の入院患者があらわれました。現在でも同程度の需要はあると見込まれます。その患児たちは奈良市や郡山市の遠い病院に入院しているはずで、病院が遠いと通うだけで親御さんには大きな負担となってしまいます。

近くに病院があるということは、子どもの命を守るだけでなく、家庭を守り、女性の雇用を守り、若い世代を支援し、少子化に対応することでもあります。

若い親御さんは子どもが軽い病気をし

た時や病後の時期も困りますね。こういう時期は子どもも不安なので、普段よりも機嫌が悪く、手がかかります。でも、仕事が休みにくいのも現実ですね。

そういうとき、役に立つのが病児保育や病後児保育です。病後児保育は現在でもいこま保育園で行われています。これを市民の病院に併設し、小児科のバックアップで病児保育に拡大します。

子どものちょっとした病気の時、親としてはそばにいてやりたい。でも、仕事は休めないことだってありますね。そんな親と子を支援する優しい行政をつくりたいと思います。



災害時こそ威力を発揮する中核病院をつくらう！

目次:

小児科のある病院と病児・病後児保育で、子育て支援を！	1
災害時こそ威力を発揮する中核病院をつくらう！	1
高山開発推進、市民の賛成は5%！ やはり白紙から見直そう！	2
あなたにつながる生駒市議会・市政をつくらう！	2

去る3月25日、能登半島地震が起き、死者1人と多数の負傷者がでました。そういう時こそ、医療機関と自治体の力量、そして普段からの備えが問われます。市立輪島病院は人口3万4千の輪島市がもつ199床の病院。地震が日曜日に起こったにもかかわらず、職員は次々に駆けつけ、玄関ホールをあっという間に仮設診療室に変えて、多数のけが人の治療に当たりました。普段の訓練が実った瞬間でした。「輪島病院奮闘 訓練実る」の見出しで報じられました。

さて、我がふるさと生駒市はどうでしょうか。市の西側に走る生駒断層による直下型地震、さらには今後30年以内に100%起こるとされる南海巨大地震。人口11万7千人の生駒市には輪島病院のような公的病院もなく、どのようにして巨大災害に対処するのでしょうか。阪神大震

朝日新聞
3月28日
夕刊



発生直後、被災者の治療にあたる医師ら。手前がトリアージタグ=25日午前11時29分、輪島市山岸町で、佐藤幸徳撮影

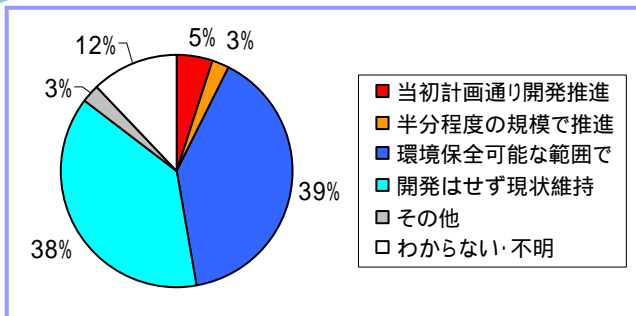
災の時もそうであったように、被災直後は、外からの支援が被害の大きいところほど届きません。少なくとも半日程度は自前で持ちこたえられねばならないのです。そのためには何としても地域の基幹病院が必要です。

医療の確保は安心生活の基盤です。



ホームページとブログもご覧ください！
<http://www.eonet.ne.jp/~ikomanomirai>

高山開発推進、市民の賛成は5%！ やはり白紙から見直そう！



昨年未から今年にかけて生駒市民3000人を対象に行われた「まちづくりに関するアンケート調査」によれば、高山地区第2工区開発計画について、当初計画通りに進めることに賛成はわずかに5%、半分程度に縮小するにもたった3%の賛成でした。民意はやはり開発白紙撤回です。

私たちは高山地区第2工区開発の必要性、採算性、生活環境・自然環境への悪影響などを考慮して、白紙に戻すことを主張しています。今後もそのような運動を民意と共に続けます。

あなたにつながる生駒市議会・市政をつくろう！

実は伊木まり子をはじめ私たちの多くがそうだったのですが、一番身近なはずの生駒市政に十分な興味を持たず、注意もはらわず、この何十年かを過ごしてしまいました。その結果一部の人が望む市政が展開され、現在では反対が強い高山の開発や大きなコミュニティセンターの建設が行われ、大ホールの建設計画まで持ち上がったのでした。このような箱ものは造った業者は潤いますが、その後の維持には毎年毎年市民の税金が使われてしまいます。

このような市政にしてしまった責任の一端は無

関心だった私たちにあります。これからは市政をウォッチしましょう。そして、だめなことには「ダメ！」とはっきり言いましょ。大昔に見た社会の教科書に載っていた「主権在民」は身近な市政で市民が意見を伝えてこそ実現できるのですから。

そのために生駒市の委員会は原則公開にし、いつでも誰でも見られるようインターネットの映像として配信することを提案します。また、非公開で談合めいたことをしている議員全員協議会は即刻廃止すべきです。あなたにつながる議会、市政、それが私たちの主張です。



Dr. Marikoの健康ひとくちコラム

メタボリック シンドロームってなあに？

最近、新聞やテレビで聞くようになりました。「内臓肥満症候群」ともいいます。お腹の中の内臓にたまった脂肪によって起こる病気で、最終的には心筋梗塞(こうそく)や脳卒中にいたります。最近、男性は20代以上のすべての年代で肥満が増えています。肥満で特に問題なのが、皮下脂肪よりこの内臓脂肪が多いタイプなのです。

まずは、メジャーでおへその高さで胴回りを測ってみましょう。男性で85cm、女性で90cm以上あったら要注意。これに血圧が高め、血液検査で中性脂肪が高め、HDLコレステロールが低め、血糖が高めの2つがあるとメタボリックです。



予防で大切なことは、摂取エネルギーを減らすことと運動です。言うは易し、行うは難しですが、私の夫はバスをやめ、同僚と一緒に駅と職場間の往復4.5kmを毎日歩いています。これで1日6000歩、200kcalの消費です。ジムに通うのも結構ですが、これならお金もかからないし、時間もムダにしません。

継続する秘訣は運動を日常生活の中に組み込んでしまうことです。

